

第27回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 平成28年8月18日(木) 13時30分～

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・むすびあい手帳
3包括 70部 発行
- ・コミュニケーション欄について包括へ問い合わせあり
地域連携手帳では緑色の用紙使用。
むすびあい手帳では白色の用紙だが変更する必要があるか。
目立つように緑色の用紙を使用。付箋を利用するなどの工夫で対応していただければとのこと。
- ・歯科での利用
初診時、治療終了時に手帳のコミュニケーション欄に記載している。
グループホーム、小規模多機能型居宅介護では独自のコメント欄作成し、利用しているところが多い。小規模多機能型居宅介護では毎日、家族とのコメント記入用紙として利用している。

2. 連携手帳の発展的利用

水分摂取量の記載

管理上重要項目のページ：管理事項欄

- ・水分摂取量の記載について
日常生活経過に追記が必要か
欄があれば記入しなければならず、事業所等対応する方の負担が増加も考えられる。必要に応じての対応とする。
(脳梗塞の対象者は医師より水分摂取量について指導あり、事業所にて表を作成し記入・管理している)
- ・管理上重要項目のページ：管理事項欄について
薬局、栄養科：アレルギー
薬局では分かりやすく表書きに記載している。
重要項目に記載する情報の範囲、管理等について次回検討。

3. 「地域連携手帳」から「むすびあい手帳」への移行状況

ケアマネージャーより、利用状況としてこれまでと変わらず。

今後むすびあい手帳へ移行しての感想・意見を出していく

4. その他

次回手帳委員会

平成28年 10月20日（木）午後1時30分から

新津医療センター病院大会議室